

みずほCustomer Desk Report 2022/03/24号 (As of 2022/03/23)

市場営業部 為替営業第二チーム

【昨日の市況概要】

	USD/JPY	EUR/USD	EUR/JPY	公示仲値	121.16
TKY 9:00AM	121.34	1.1028	133.81	GBP/USD	AUD/USD
SYD-NY High	121.41	1.1043	133.82	1.3272	0.7463
SYD-NY Low	120.60	1.0964	132.37	1.3299	0.7507
NY 5:00 PM	121.16	1.1001	133.32	1.3175	0.7451
				1.3205	0.7500
NY DOW	34,358.50	▲ 448.96	日本2年債	-0.0300	▲ 1.00bp
NASDAQ	13,922.60	▲ 186.21	日本10年債	0.2200	0.00bp
S&P	4,456.24	▲ 55.37	米国2年債	2.0962	▲ 6.90bp
日経平均	28,040.16	816.05	米国5年債	2.3137	▲ 8.42bp
TOPIX	1,978.70	44.96	米国10年債	2.2889	▲ 9.09bp
シカゴ日経先物	27,430.00	▲ 65.00	独10年債	0.4775	▲ 2.45bp
ロンドンFT	7,460.63	▲ 16.09	英10年債	1.6240	▲ 8.40bp
DAX	14,283.65	▲ 189.55	豪10年債	2.7750	6.90bp
ハンセン指数	22,154.08	264.80	USDJPY 1M Vol	7.78	0.18%
上海総合	3,271.03	11.17	USDJPY 3M Vol	7.75	0.20%
NY金	1,937.30	15.80	USDJPY 6M Vol	7.70	0.16%
WTI	114.93	5.66	USDJPY 1M 25RR	0.03	Yen Put Over
CRB指数	306.317	7.22	EURJPY 3M Vol	9.51	0.09%
ドルインデックス	98.62	0.13	EURJPY 6M Vol	9.40	0.05%

【昨日の指標等】

Date	Time	Event	結果	予想
3月23日	16:00	英 CPI(前月比/前年比)	2月 0.8%/6.2%	0.6%/6%
	23:00	米 新築住宅販売件数	2月 772k	810k
3月24日	00:00	欧 消費者信頼感	3月 -18.7	-12.9

【本日の予定】

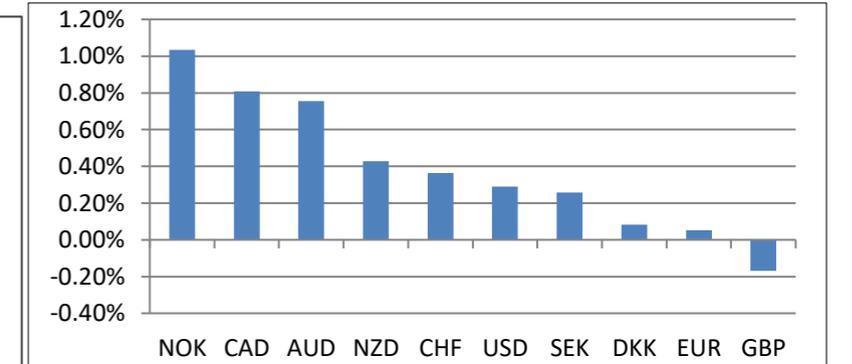
Date	Time	Event	予想	前回
3月24日	10:05	米 ブラード・セントルイス連銀総裁 講演	-	-
	21:30	米 新規失業保険申請件数	19-Mar 210k	214k
	21:30	米 耐久財受注(除輸送用機器)・速報	2月 0.6%	0.7%
	22:50	米 エバンス・シカゴ連銀総裁 講演	-	-
3月25日	00:00	米 ポスティック・アトランタ連銀総裁 講演	-	-

東京	日本と欧米での金融政策の方針の違いが浮き彫りになったことでの円売りが継続し、ドル円は東京時間オープン時のタイムで2015年12月以来の水準である121.34レベルをつける。仲値後に調整売りの動きが一時的に加速し120.80まで下落するも、堅調な株式市場にも支えられ121円台に復帰し、121.09レベルで海外に渡った。
ロンドン	ロンドン市場ドル円は121.09レベルでオープン。アジア時間の流れを引き継ぎ、円売りが優勢。120.80レベルでNYへ渡った。ユーロドルは1.1036レベルでオープン。欧州株が軟調に推移した事や、調整売りに値を下げ1.0984レベルでNYへ渡った。
ニューヨーク	いくつかの金融機関が5月と6月の利上げ見通しをそれぞれ50bpずつに上方修正する中、海外市場でドル買い、円売りが強まりドル円は121.41まで上昇するが、特段のヘッドラインが見当たらないものの、121.50を前に利食い売りに反落し、120.80レベルでNYオープン。朝方は海外市場の流れを引き継ぎ120.60まで下落するが、その後は下げ渋り120.70付近での推移が続く。10時に発表された米2月新築住宅販売件数が予想を下回ったものの、ドル円の反応は限定的となるが、年末までに2.5%までの利上げを支持する幼派のマスター・カーブロード連銀総裁が、「市場は利上げとバランスシート縮小の同時進行を対処できる」と発言し、ハドソン派で知られるテラー・SF連銀総裁も「50bp利上げする必要があればそうする」と発言したこともあり、低下していた米金利がやや戻す動きに121.14まで戻す。午後は米20年債入札が良好であったことから金利が再び低下する一方、ドル円は121.10付近での狭いレンジでの推移が続く、121.16レベルでクロスした。一方、海外市場のユーロドルは、ユーロ円が利食い売りで軟化する動きに連れ安となり、1.0975まで下落し1.0984レベルでNYオープン。朝方は海外市場の流れを引き継ぎ1.0964まで下落するが、米金利低下を受け徐々に値を戻し、1.1007を付ける。午後はユーロ円がじり高で推移する中、ユーロドルもサポートされ、1.1012まで戻し、1.1001レベルでクロスした。

【ドル円相場】



【対円騰落率(日次)】



【予想レンジ】

通貨ペア	USD/JPY	EUR/USD	EUR/JPY
想定レンジ	120.60-121.50	1.095-1.105	132.50-134.00

【マーケットインプレッション】

昨日のドル円は、シドニー時間に高値121.41をつけるもその後は上値重く推移。米金利の低下や急速に進んできたドル買いの調整に120.60まで下落するも、その後はFed高官らによるタカ派な発言が続いたこともあり、121円台に戻す展開となった。本日のドル円は狭いレンジでの推移を予想。本日は欧米の製造業PMIの発表を控えるが、足下ではインフレによるスタグフレーションが懸念される中、米経済指標はやや軟化傾向。結果次第では市場心理を冷やす展開も想定されるが、日米金融政策差が意識される中、下値は限定的と考える。

当資料は情報提供のみを目的として作成したものであり、特定の取引の勧誘を目的としたものではありません。当資料は信頼できると判断した情報に基づいて作成されていますが、その正確性、確実性を保証するものではありません。ここに記載された内容は事前連絡なしに変更されることもあります。投資に関する最終決定は、お客様ご自身の判断でなさるようお願い申し上げます。また、当資料の著作権はみずほ銀行に属し、その目的を問わず無断で引用または複製することを禁じます。なお、当行は本情報を無償でのみ提供しております。当行からの無償の情報提供を望まれない場合、配信停止を希望する旨をお申し出ください。

担当: 松木・小野崎